

大分市水道史

～ 90年のあゆみ ～

大正 1912～1926年

大正元年頃	水道布設の議起こる
大正元年	小川平一郎工学博士に調査と設計を囑託
2年4月	小川平一郎工学博士調査結果報告
12年12月	上水道調査費を計上するも関東大震災（9月1日）のため調査一時中止
13年6月	澤井準一工学博士を顧問に迎え上水道調査を開始
12月16日	市議会で上水道布設施行の件を議決
12月17日	水道布設認可申請書を内務大臣へ提出
14年4月1日	水道部設置
4月8日	水道布設認可（内務省分衛第1号）
5月2日	起債認可により用地買収を開始
5月30日	上水道起工式（三芳浄水場構内）
9月24日	河水使用許可（指令土第4417号）

昭和 1926～1989年

昭和2年2月14日	水道使用条例施行
2月24日	三芳浄水場配水池生き埋め事故
7月10日	給水開始（給水人口7,589人）
7月25日	通水式（三芳浄水場）
10月29日	水道事務所落成（草場町）
3年12月25日	大分市水道誌発行
4年11月1日	部制が廃止され水道課となる
7年4月1日	計量にメーター制採用
12年4月9日	三芳浄水場に塩素滅菌機を設置
5月5日	水道創設10周年記念式典（三芳浄水場）
21年11月	戦災復興事業として戦災復旧工事（5か年）
26年9月30日	三芳浄水池公園開園
11月10日	第1次拡張事業計画認可（厚生省分衛第197号）
5か年計画	目標年度 昭和40年度
27年4月10日	第1次拡張事業工事着工
8月1日	地方公営企業法制定公布
10月1日	地方公営企業法適用
	「管理者」が設置され、助役が兼任

昭和28年2月	畑中～三芳間に送水管布設（2,650m）
5月9日	水道創設25周年記念式典
6月26日	豪雨による大分川氾濫のため伏越配水管等に被害、断水が発生
29年6月	滝尾地区配水管布設工事完成
7月10日	上野高台に水道加圧施設完成
31年6月	三芳浄水場拡張工事完成（施設能力28,000m ³ /日となる）
32年6月15日	水道法公布（10月1日施行）
8月	第1次拡張事業工事完工（施設能力28,000m ³ /日）
10月5日	水道創設30周年記念式典（三芳浄水場）
34年7月25日	第1回「水道週間」
35年12月28日	第2次拡張事業計画認可（厚生省分衛第926号）
3か年計画	目標年度 昭和50年度
36年10月23日	光吉浄水場浄水池予定地のボーリング調査工事に着工
10月26日	集中豪雨により三芳浄水場水害
37年10月10日	水道創設35周年記念式典（三芳浄水場）
12月15日	光吉浄水場浄水池築造工事完成
38年3月10日	6市町村合併により新大分市発足（人口216,130人）
7月15日	水道局制を施行 専任の「管理者」設置
7月31日	光吉浄水場第1期工事完成（施設能力12,000m ³ /日）
8月1日	光吉浄水場通水開始
39年1月30日	新産業都市の指定を受ける
5月31日	坂ノ市上水道（2,500m ³ /日）給水開始
7月31日	森岡山配水池（6,000m ³ ）完成
40年5月31日	光吉浄水場第2期工事（20,000m ³ /日）完成（施設能力32,000m ³ /日となる）
41年1月7日	第3次拡張事業計画認可（厚生省環第12号）
8か年計画	目標年度 昭和55年度
9月9日	台風19号により光吉浄水場冠水（64時間断水）
42年1月1日	管理者が常勤特別職となり、職名を水道事業管理者に変更
3月31日	森岡山配水池第2期工事完成（容量10,430m ³ となる）
3月	第2次拡張事業工事完工（施設能力60,000m ³ /日）

昭和42年5月31日	光吉浄水場第3期工事（18,000m ³ /日）完成（施設能力50,000m ³ /日となる）
43年3月1日	庁舎移転（市庁舎から大道へ）
44年4月1日	メーター検針隔月となる
5月31日	えのくま浄水場第1期工事（施設能力30,000m ³ /日）完成
6月1日	えのくま浄水場通水開始（同時に畑中水源地・松岡水源地を廃止）
6月30日	庄の原第1配水池（2,500m ³ ）完成
45年5月31日	三芳浄水場の配水池への改造工事（容量12,600m ³ ）完成
以後、三芳配水池となる	
6月1日	第1次配水管整備事業（5か年計画）に着工
7月30日	横尾浄水場建設用地買収完了
46年1月	料金調定業務を電算処理委託
4月1日	料金消込業務を電算処理委託
6月1日	料金調定業務隔月となる
6月30日	えのくま浄水場第2期工事（28,000m ³ /日）完成（施設能力58,000m ³ /日となる）
47年2月1日	水道料金に逓増制採用
6月30日	横尾浄水場第1期工事（30,000m ³ /日）完成
7月1日	横尾浄水場通水開始
49年5月31日	横尾浄水場配水池増設工事完成（21,000m ³ となる）
9月9日	三芳配水池北側、台風18号により土砂崩壊
50年6月1日	第2次配水管整備事業に着工（5か年計画）
7月31日	横尾浄水場第2期工事（30,000m ³ /日）完成（施設能力60,000m ³ /日となる）
51年3月1日	水道料金が口径別用途別の併用制となる
3月20日	光吉・えのくま・横尾各浄水場排水処理施設工事完成
3月	第3次拡張事業工事完工（施設能力170,500m ³ /日）
4月1日	漏水調査業務委託開始
53年4月28日	三芳配水池の溢水事故
10月19日	配水施設整備事業着工（2か年計画）
54年3月31日	えのくま浄水場排水処理施設増設工事完成

昭和55年3月20日	水道局新庁舎建設工事完成（城崎町）
4月7日	新水道局庁舎で業務開始
6月1日	第3次配水管整備事業に着工（5か年計画）
56年2月26日	異常寒波による凍結事故多発（10,400件余）
3月10日	庄の原第2配水池（10,000m ³ ）完成
58年3月10日	えのくま浄水場傾斜板改造（取替）工事完成
3月20日	横尾浄水場排水処理施設整備事業（天日乾燥施設等）完成
59年5月14日	浄水場施設整備事業着工（3か年計画）
7月24日	第1回「節水の日」
12月	古国府浄水場用地地質調査実施
60年6月1日	第4次配水管整備事業着工（5か年計画）
12月16日	配水施設整備事業着工（4か年計画）
61年3月31日	第4次拡張事業計画認可（厚生省生衛第272号）
6か年計画	目標年度 昭和66年度（平成3年度）
（認可の主な目的）古国府浄水場の建設等の施設整備計画	
4月1日	水道モニター制度発足
62年2月2日	古国府浄水場建設起工式
63年3月10日	三芳配水池増量工事（15,000m ³ ）完成（容量30,000m ³ となる）
3月31日	第4次拡張事業計画変更認可（厚生省生衛第759号）
15か年計画	目標年度 昭和81年度（平成18年度）
（認可の主な目的）大分川ダム開発水量による施設能力の変更	
5月1日	メーター取替業務委託開始
6月	古国府浄水場第1期工事完成（施設能力80,000m ³ /日）
6月20日	古国府浄水場一部通水
	古国府浄水場通水式
7月28日	暫定豊水水利権許可（10,000m ³ /日）
11月1日	通水60周年記念誌発行
12月23日	大分川ダム建設基本計画告示（取水量108,900m ³ /日）

写真/昭和3年頃 大分市全景

平成 1989年～

平成元年4月1日	機構改革実施
8月1日	第1回「古国府浄水場一般公開」
10月1日	修繕工事等に関する業務委託開始
2年4月1日	第5次配水管整備事業着工 (5か年計画)
8月1日	水道資料館完成
3年4月1日	古国府浄水場排水処理施設運転保守管理業務委託開始
4年3月15日	石川配水場完成(36,000m ³)
4月1日	えのくま浄水場排水処理施設運転保守管理業務委託開始
5年4月1日	機構改革実施
9月3日	台風13号による大雨で道路陥没、岡原で配水管が切断され大南方面で約6千戸が断水、給水のため自衛隊災害派遣出動
6年7月12日	連日の猛暑により、過去最高の173.191m ³ /日の給水量を記録
7月15日	給水開始以来初めて湯水対策本部を設置
10月31日	丹川配水池完成(3,000m ³)
7年1月20日	阪神淡路大震災による被災者への飲料水確保のため救援隊派遣(延べ30名派遣)
4月1日	第6次配水管整備事業着工 (5か年計画)
5月29日	大分川ダムの工事用道路起工式
8年3月	えのくま浄水場中央監視制御設備更新工事完成
8月30日	七瀬川水管橋完成 太平寺配水場(30,000m ³)完成
12月27日	大分市水道事業総合計画策定
9年3月	えのくま浄水場酸汚泥注入設備完成
10年3月10日	水道局庁舎増築工事完成
4月1日	機構改革実施
11年3月	通水70周年記念誌発行
5月1日	自己電算処理開始、ハンディターミナルシステム運用開始
7月1日	上・下水道料金システム運用開始

平成12年4月1日	第7次配水管整備事業(～平成16年度)着工 3階建て建築物直結給水開始
4月17日	量水器情報管理システム運用開始
6月14日	大分川ダム建設に関する基本計画変更(第1回)の告示(平成22年度完成)
9月29日	松岡配水池(3,600m ³)完成
13年4月2日	暫定豊水水利権許可(23,000m ³ /日)
14年4月1日	水道メーター検針業務委託開始
9月2日	第4次拡張事業変更第1回届出(厚労省受理番号第0902019号) (届出内容)簡易水道事業(平野)の統合
15年6月3日	第4次拡張事業変更第2回届出(厚労省受理番号第0603001号) (届出内容)簡易水道事業(内植田)の統合
11月1日	水道局全局ネットワーク運用開始
16年8月31日	台風により大野川白滝取水口が閉塞し横尾浄水場への送水が大幅に低下
10月1日	文書管理システム運用開始
12月27日	第4次拡張事業変更第3回届出(厚労省受理番号第1227001号) (届出内容)市町村合併に伴う事業の全部譲り受け
17年1月1日	佐賀関町・野津原町と合併 新大分市発足(人口464,223人)
4月1日	企業会計システム運用開始
9月10日	台風14号に伴う災害支援として宮崎市に 応急給水隊派遣(延べ24名派遣)
18年1月1日	コンビニ収納開始
4月1日	直結給水範囲拡大
19年11月1日	電子申請システム導入
12月	通水80周年記念ペットボトル水「おおいたん水」作成
20年4月	大分市水道事業基本計画策定
7月17日	大分川ダム建設に関する基本計画変更(第2回)の告示(取水量35,000m ³ /日)
11月	大分川ダムの仮排水路トンネル完成

平成20年11月17日	第4次拡張事業計画第2回変更認可(厚生労働省発健第1117004号) (認可の主な目的)簡易水道事業(室生、田ノ浦、一尺屋、野津原東部、野津原中部、野津原西部)の統合 取水地点(大分川ダムの既認可水量)の変更 浄水方法(大志生木、岩ノ下浄水場)の変更
21年2月4日	経営評価委員会設置
4月1日	機構改革実施
7月15日	佐賀関配水池(2,000m ³)完成
22年4月1日	横尾浄水場及び導水ポンプ所運転管理業務委託開始
10月1日	野津原東部、中部簡易水道を上水道に統合
23年1月1日	平和市民公園に飲料水兼用耐震性貯水槽(100m ³)を設置
25日	前年秋以降の少雨により市東部地区(坂ノ市・佐賀関)の浄水場において地下水位が低下したため、湯水対策本部を設置
3月14日	東日本大震災に伴う災害支援として、福島県いわき市に全3班、延べ12名を派遣し、 応急給水活動を実施
24年3月	「みずタン」をマスコットキャラクターに決定
6月22日	大分市水道局公式Twitter(ツイッター)運用開始
7月12日	九州北部豪雨に伴い災害支援として竹田市に 応急給水隊派遣(延べ43名派遣)
25年4月1日	えのくま浄水場運転管理業務委託開始 三芳配水場と太平寺配水場の緊急時連絡管完成
11月15日	大分市水道局公式Facebook(フェイスブック)運用開始
29日	岩ノ下浄水場に膜ろ過施設完成(2,500m ³ /日)

平成26年2月16日	大分川ダム本体建設工事起工式
3月	環境に関する報告書作成
5月30日	大分市水道局災害時支援協力員制度発足
7月	「みずタン」の着ぐるみ完成
12月15日	水道局本庁舎耐震補強工事完成
27年2月25日	大分川ダム建設に関する基本計画変更(第3回)の告示(平成31年度完成)
3月	大分市水道事業基本計画 ～大分市水道事業ビジョン～策定
4月1日	料金関連総合業務委託開始 大分市水道局優良建設工事表彰開始 室生、田ノ浦、一尺屋、野津原西部簡易水道を上水道に統合
5月	大分市水道局水安全計画公表
28年1月27日	異常寒波により水道管が凍結し断水が発生した杵築市において 応急給水活動を実施(延べ14名派遣)
2月28日	大分川ダム本体工事定礎式
4月15日	熊本地震(4月14日、16日)に伴い災害支援として、熊本市はじめ熊本・大分両県の市町村に 応急給水、復旧支援活動を実施(延べ104名派遣)
7月1日	鉛給水管取替工事助成金制度開始
29年2月1日	古国府浄水場運転管理等業務委託開始

大分市水道90年のあゆみ ～通水90周年記念誌～

発行日	平成29年6月1日
企画・発行	大分市水道局 〒870-0045 大分市城崎町1丁目5番20号
編集・制作	いづみ印刷株式会社 〒870-1117 大分市高江西1丁目4323番地の25
印刷・製本	九州凸版印刷株式会社 〒870-0941 大分市大字下郡3154番地の22